

## 平成31年度 諫早中央事業計画（抜粋）

### 方針

平成30年度の事業計画より、介護保険の理念でもある自律（自立）支援に取り組みました。当初より複数年度の取り組みと位置づけ、初年度は、ケアプランの強化とフォローアップによるチーム力の強化に取り組みました。その中で、ケアプラン・24Hシートの理解や記録との連動の重要性、チーム力の強化は見られましたが、サービス提供レベルでの精度に欠けるところが課題として見えてきました。そこで、今年度は、ケアプラン・24Hシートのサービス提供レベルでの精度の向上を目指して基本に立ち返り“情報の共有”を軸に自律（律）支援に取り組みます。

また、“24Hシート”“情報の共有”について、居宅介護支援事業所寿光会ケアプランセンター主導で、ご本人、ご家族を中心として、他法人複数事業所と連携・展開し効果を検証します。そして、この取り組みは、11月に大阪で開催されるユニットケア全国フォーラムでの発表を目標にします。

全国的に見ると、特養の入居率は低下傾向でしたが、平成29年度データでは横ばいとなっています。（平成28年度94.4%→平成29年度94.4%）、しかし、平均介護度の上昇は続いており全国平均で要介護3.86となっており、介護度の改善と入院等なく暮らし続けること、すなわち、ケアの質と経営がイコールとなって特養全体の運営課題として浮かび上がってきています。

今年度の事業計画は、この課題も考慮し、入居者の平均介護度を維持・改善（自立（律）支援）する為に、ひとりひとりの暮らしに行き届いた住環境とケアを提供し、諫早中央で元気に暮らし続けることを念頭に置いて、リーダー会議、ユニット会議等で協議を重ね事業計画を策定しました。

#### 1、自立（自律）支援2年目と情報共有について

平成30年度は、自立（自律）支援の取り組みの初年度として“ケアプラン”と“チーム力”の強化を目的として計画的に複数の取り組みを行いました。評価としては、ケアプランの位置づけや重要性の理解は深まり、ケアプランへのご家族・ケアマネジャー（ユニットリーダー）の思いも理解できたと思います。また、チーム運営としては、フォローアップの概念を各自が意識したことも一因となり、致命的なチームトラブルもなく比較的良好なチームワークを保つことができました。

しかし、課題として、ケアプラン・24Hシートの内容の把握や、実施状況の把握・情報共有が不十分で、ケアの統一がされず、職員が個々の価値観でケアの方向性を判断し、自立（自律）支援やチームの方向性と離れたケアの提供が一部見られました。また、業務連絡等を含む細かな情報伝達の不足や、日々のコミュニケーション不足が原因と考えられる不協和音も散見され、結果、コミュニケーション不足が、感染症発生の原因にもなりました。

そこで、今年度は、『情報は与えられるものではなく得るもの』と位置づけ、ケアプラン、24Hシートの実践とサービス提供の精度の向上を目指して“情報共有”を主軸に自立（律）支援に取り組みます。

## 2、具体的な取り組み内容

- (1) ケアカンファレンスへのスタッフの参加（ケアプランの情報共有）
  - ① 全介護職員が年度内に1回以上カンファレンスに参加
- (2) ユニット会議の充実（ユニット内での情報共有）
  - ① リーダー、サブリーダーの連携による議題の決定と確認
  - ② 議題の事前報告と職員への意見聴取の実施等、会議の事前準備
- (3) リーダー会議の充実（施設内での情報共有）
  - ① 生活相談員を中心に、施設長、部長との議題の決定と確認
  - ② 議題の事前報告とリーダーへの意見聴取の実施
- (4) コミュニケーションの充実（ご家族、職員間の情報共有）
  - ① 情報は与えられるものではなく得るものと位置付ける
  - ② ケアの内容、事故・ヒヤリハット、職員を含む健康状態の確認等々
  - ③ ご家族への報告、相談（相手の立場に立った姿勢）
- (5) 記録の充実（記録による情報共有）
  - ① 始業時の日報の確認の徹底と、職員同士の確認、情報共有
  - ② ケアプランの実施やエピソードなどの記録と日報への転記の充実
- (6) 入居者の介護度の確認（自立（律）支援の達成度の情報共有）
  - ① 目標平均要介護度 要介護3.6
  - ② 職員会議での要介護度更新状況の報告

### 3、寿光会ケアプランセンターの情報共有について

今年度は、寿光会ケアプランセンター主導で、ショートステイを中心にサービスの質の向上を目的として、24Hシートを活用した他法人、他事業所との情報共有に取り組みます。

#### 【取り組みのフローチャート】

① ご家族、ケアマネによる24Hシートの作成



② ショートステイ事業者の24Hシート活用



③ ショートステイ事業所による加筆、修正



④ ご家族、ケアマネによる加筆、修正



⑤ 在宅ケアでの活用



⑥ 別事業所（ショートステイ）での24Hシートの活用



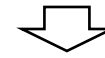
⑦ 別事業所（ショートステイ）での加筆、修正



⑧ 上記①～⑦の繰り返しによる24Hシートの活用、充実



⑨施設入居時には24Hシートを活用したケアの依頼



⑩施設での24Hシートの活用



諫早市には、2法人3施設のユニットリーダー研修実地研修施設が指定されているという充実した環境が整っていることもありスムーズな実施が可能となりました。また、主に施設ケアのツールとして活用されている24Hシートの可能性を居宅サービスに広げる取り組みにもなります。